

※今月のみ受注の書目です。

出版史／東洋史 ご担当者さま

朝鮮出版文化の誕生

新文館・崔南善と近代日本 (2022年10月下旬刊行予定)

田中美佳 (日本学術振興会特別研究員) [著]

A5判上製 / 320頁 税込予価 5,500円 ISBN978-4-7664-2851-3 C3022

👉 ココに注目!

- 日本と朝鮮を結びつけた「出版」という知識の源泉——。
- 朝鮮最大の知識人・崔南善の活動を中心に、近代朝鮮の思想・文化・運動を形作った「出版」の歴史を明らかにする。

1908年に設立された新文館は、近代朝鮮において出版文化が形成される時期からその文化が開花する1920年代まで、朝鮮出版界を率いた出版社だった(1922年に解体したのち東明社という名で再建、現在も存続)。また、創設者である崔南善は、日本の植民地支配に協力した「親日派」の知識人であり、三・一独立宣言書の起草者でもあり、近代文学の祖・李光洙とともに韓国史で最もアンビバレントな存在となっている。

本書は、その崔南善の新文館を中心に、近代朝鮮における出版文化の形成過程を、同時代の日本の出版界との関係という「一国史」を越える視点で実証的に解明する。

対象 出版史または東洋史(近代朝鮮)を専攻する研究者

類書 田雁『近代中国の日本書翻訳出版史』(東京大学出版会)

👉 主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【主要目次】

序章

- 1 韓国出版文化の起源／2 新文館の創設者・崔南善とは／3 研究史／4 研究方法と史料／4 内容構成

第1章 出版社新文館の設立と『少年』の創刊

- 1 崔南善の日本体験／2 新文館および『少年』にみられる日本の影響／3 新文館の運営方式／4 啓蒙の手段としての日本書の受容

第2章 新文館の児童雑誌と日本の児童文学界——朝鮮の植民地化と武断政治のなかで

- 1 児童雑誌の刊行の背景と崔南善の児童観／2 児童への接近手段としての日本書／3 児童雑誌にみる「朝鮮的なもの」／4 児童雑誌から「総合教養」雑誌『青春』へ

第3章 『青春』が目指したもの——「世界的知識」の発信と民衆啓蒙

- 1 「総合教養」雑誌『青春』の世界性／2 執筆者たちの世界認識と日本経験／3 「世界的知識」の発信方法／4 『青春』の終焉

第4章 新文館の刊行物と女性

- 1 近代朝鮮の女性向け刊行物と新文館／2 保護国期における女性認識と『少年』／3 1910年代における女性をめぐる言説と新文館の児童雑誌／4 近代朝鮮の出版史上における画期性

第5章 シリーズ書籍という試み——韓国併合前後の単行本

- 1 多種多様な新文館の単行本／2 叢書企画とその背景／3 叢書企画の由来／4 翻訳小説シリーズと日本の出版社

第6章 新文館初のロングセラー『時文読本』の編集過程

——三・一独立運動前夜の単行本

- 1 朝鮮初の現代文教科書・『時文読本』／2 日本の刊行物との関係性／3 『時文読本』の独自性／4 『自助論』について

第7章 時事週報『東明』と新文館の終焉——三・一独立運動後の崔南善の出版活動

- 1 三・一独立運動と新文館／2 新文館から東明社へ／4 『東明』の概要と刊行目的／4 「民族的完成」に向けた取り組み／5 誌面上の娯楽要素—新文館の残像

終章

- 1 東明社のその後／2 近代朝鮮の出版文化の形成と日本／3 今後の課題



ご注文は FAX で! 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		田中美佳 著 朝鮮出版文化の誕生 —新文館・崔南善と近代日本 ISBN978-4-7664-2851-3 C3022	5,500 円	★★

★1つで「500部」を表します